

# はじめに

本書は、スペイン語圏に留学したり仕事上その土地で暮らしたりするとき、または国内のスペイン語圏の人たちとの意思疎通をはかりたいときに役立つようなスペイン語の単語・文例をできるだけ多く集めたものです。しかしその一方で、日本に居ながらにして身近な生活風景を思い浮かべながら、さまざまな状況をスペイン語でどう表現すればよいかを知りたいと思ったときに活用できる語彙・表現集でもあります。というのも、スペイン語学習者の誰もがスペイン語圏へ足を運べるわけではないからです。せっかくスペイン語を学んでもスペイン語圏へ足を踏み入れて当地の生活習慣を体験できる人は限られていますし、独学によってあるいは大学などの教育機関でスペイン語を勉強しても、しばらくそこから離れてしまうと語学力は徐々に遠のいていってしまいます。月日が流れれば流れるほどその傾向は強まります。

そこで外国へ行かなくても、頭の中でいろいろな場面や人とのコミュニケーションを思い浮かべながら表現できるスペイン語の学習書があってもよいのではないかと考え、各場面に必要な単語とそれをベースにした数々の表現を組み合わせた語学書を作ることにしました。そのため、ここでは旅行ガイドブックのようにスペインやラテンアメリカの生活事情に特化されるような単語や言いまわし、その土地特有の物産などへの言及は控え、できるだけ日常生活をするうえで必要と思われる言葉に絞ることにしました。日々の暮らしからその時その場の状況にふさわしい日本語をスペイン語に直してみるのも楽しいのではないのでしょうか。もちろん、スペイン語圏で使用されても有用であるような構成になっています。ただし、あくまでも私たちのまわりの物理的環境、すなわち生活する上での諸事情・諸問題を扱うのが目的であり、複雑な感情表現には言及していません。この点についての詳細はすでに『スペイン語の感情表現』（白水社、2021年）で扱いましたので、興味のある方はそちらをご覧ください。幸いです。

本書作成にあたり、以下のことに留意しました。

- (1) 単語や例文はスペインのスペイン語を基準に作成しましたが、場合によってはラテンアメリカで用いられるスペイン語の単語・表現も含まれています。
- (2) 本書では基本的に生活上の身近な出来事にまつわる事柄に焦点をあて、政治・経済、法律、科学、テクノロジーなど、専門的な内容には触れないようにしました。

- (3) 全体を I、II に分け、I では暮らしの中のいろいろなシチュエーションを想定し、そこで欠かせないであろうと思われる言葉や表現を拾い集めてみました。また II ではコミュニケーションの基本となる表現が中心となっています。
- (4) 「例文」は「**関連語**」の中の単語を任意で選び作成したものであり、すべての単語を用いて例文を作成したわけではありません。文はできるだけ短めの表現になるよう試みましたが、テーマによっては多少長めの文もあります。なお、単語の重複は極力避けるようにしましたが、シチュエーションによっては重複せざるを得ない場合もあります。
- (5) 「**関連語**」や「**例文にかかる語**」に出てくる「動詞」は、スペイン語の例文に準拠し、再帰代名詞 **se** をつけるほうが自然だと考えられる場合は再帰動詞として記しました。なお、「**例文にかかわる語**」は、例文に表れる単語以外にも、テーマに関連しそうな単語も含めアルファベット順に並べてあります。
- (6) 基本的に例文は、「自分自身の考えや思い」を中心に表現できるようになっていますが、状況によってはそうでない場合もあります。
- (7) 相手に話しかける文では、おおかた 3 人称 **usted (Ud.)** を用いることにしました。スペインでは 2 人称の **tú** を用いて会話するケースが多いと思われませんが、他のスペイン語圏では必ずしもそうとは限りませんので、ここは初対面の人や目上の人と話すケース、あるいは敬意を込めて話したり、多少距離を置いて話したりするケースを想定したうえで例文を作成しました。ただし、気安く話しかけるほうが自然と思われる場合は、2 人称 **tú** を用いています。
- (8) 日本語やスペイン語に挿入された [ ] 内の語は、その前に置かれた言葉の代わりに用いることも可能です。しかし場合によっては、語句の違いによる多少のニュアンスの変化が生じるかもしれませんが、その場の状況に対する発話者の意図から大きく外れることはないと思います。なお、スペイン語については置き換える単語を明確にする意味で「点線の下線.....」を施しました。  
(例) もう行きます。 **Ya me voy [me marchó].**

一方、意味の異なる単語が配置される場合は、日本語とスペイン語の双方の単語に「下線 \_\_\_\_」を施しました。

(例) この歌のメロディーは陽気だ [悲しい]。

**La melodía de esta canción es alegre [triste].**

(9) ( ) 内の語は、日本語であってもスペイン語であっても省略することができます。

(10) 「基本的な言い方」の中で、日本語の文に対しスペイン語訳が複数考えられる場合、文と文のあいだにスラッシュ ( / ) を入れました。

(11) スペイン語の「名詞」「形容詞」は性数の変化をします。いずれの場合も語尾の音節の変化を明記し、最後の母音のみ太字にしました。

(例) **Estoy contento/ta.** →

**Estoy contento.** 私 (男性) は満足しています。

**Estoy contenta.** 私 (女性) は満足しています。

**Soy profesor/sora.** →

**Soy profesor.** 私 (男性) は先生です。

**Soy profesora.** 私 (女性) は先生です。

(12) 動詞の前後につく「目的格人称代名詞」は、性の変化が見込まれる場合には以下のように記し、人称代名詞をイタリック体にしました。

(例) 私 (男性/女性) はここであなた (男性/女性) に会えて嬉しいです。

**Estoy contento/ta de ver *lo/la* por aquí.**

あの人 (男性/女性) はいつ会っても、私に親切にしてくれる。

**Quando quiera que *lo/la* veo, se porta amablemente conmigo.**

(13) 「名詞」の性数の表示は、以下のような略字で記しました。

(m) 男性名詞

(f) 女性名詞

(m/f) 男性名詞/女性名詞

(mf) 男女同形の名詞

(s) 単数形

(pl) 複数形

(m, s/pl) 男性名詞、単複同形

(f, s/pl) 女性名詞、単複同形

(m ▶ pl) 男性名詞、複数形で常用

(f ▶ pl) 女性名詞、複数形で常用

(m/adj) 男性名詞/形容詞

(f/adj) 女性名詞/形容詞

(m)(f) 男性名詞または女性名詞

(adj) 形容詞

(14) 主語 (行為者) を明示しない動詞 (3人称複数形) には \* 印をつけました。

(例) その映画はテレビで放映されます。

**Van\* a dar esa película en (la) TV.**

ただし、医療機関のように複数の人が関わるケースが想定される場合は、目の前の相手（医者、看護婦など）に対して用いる「3人称単数」のほかにも、背後のスタッフのことも考慮に入れ「3人称複数」も加えました。その場合、複数の目印となる **n** をつけて（ ）でくくりました。

（例）私の病気にはどのような治療法がおすすめですか？

**¿Qué tratamiento recomienda(n) para mi enfermedad?**

最後に、今回もすてきなイラストを描いてくださった誉田百合絵さんに感謝申し上げます。

本書がスペイン語学習者にとって有意義なものとなり、少しでもお役に立てるようであれば幸いです。

著者